



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760

ガバナー月信 3

(2000.8.20発行)

2000-2001

国際ロータリー第2760地区 ガバナー 福田 清 成
〒483-8205 愛知県江南市古知野町小金112 (江南商工会館内)
TEL.0587-52-5200 FAX.0587-52-5252
E-mail governor00-01@rotary2760.org

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

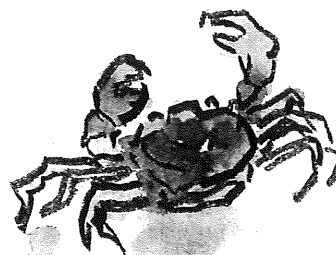
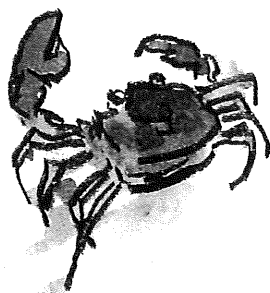
———— 9月は新世代のための月間です ————

クラブ会長・幹事の皆さんへ……………	1
新世代のための月間によせて……………	3
インターアクト地区協議会報告……………	5
20世紀からの贈り物……………	7
第1回諮問委員会報告……………	9
福田ガバナー表敬訪問……………	10

目次

創立50周年おめでとうございます……………	11
R I 青少年交換委員会委員就任……………	12
地区協議会決算書……………	12
ローターアクト行事報告……………	13
地区大会ご案内……………	14
文庫通信……………	15

起



クラブ会長・幹事の皆さんへ

新世代のための月間によせて

聞かせてください

私にとっての「ロータリー」

R I 2760 地区ガバナー 福田 清成

この月信がお手元に届く頃には十数クラブの会長、幹事さんとの懇談が既に進んでいることと想います。どのクラブも段々と良くなってゆく、それを一番願っています。スタートの7月から比べて1年後にそこはかたなくクラブの質が向上したとひそかに感じられるようになっている、会長とリーダーシップチームの皆さんの夢ではないでしょうか。

ところで先般、**加納パストガバナー**より、「公式訪問の際に以下の2点をメンバーに尋ねてほしい。

1. 君はなぜロータリアンか。
2. 君はロータリーの何処に魅力を感じるか。」という示唆をいただきました。

さまざまな出来事がニュースとなって朝から晩まで日本中から、いや世界中から押し寄せてきます。そしてそれには親切に解説がつく場合があります、時には正反対の解釈がなされたりさえします。加えて近頃はインターネットも急速に張り巡らされ始め、更に情報量は膨らんでおります。ロータリーも例外

ではなく、インフォメーションテクノロジーとその重要性を喧伝する情報に追いかけてられていると云えなくもありません。

加納パストガバナーはこのような状況に対し、「一度じっくり腰を落ち着けて、ロータリーを見つめ直したらどうですか。勿論、前向きかつ積極的な姿勢でもって」かようなお気持ちからのご助言をくださったのだと思います。

今年度の前半にはパストガバナーの皆様から「20世紀からの贈り物」をテーマにご寄稿いただいております。ロータリーを見つめるヒントが一杯に含まれていることでしょう。楽しくお読みくださって、お互いに語り合い、改めて「私にとってのロータリー」についての意識を喚起されてはいかがでしょうか。

お目にかかった折には、私にもお聞かせください。

さて、来月は、**新世**

代月間を迎えます。素晴らしい若い人達が澁刺と活動している姿を見ることは、まことに清々しく嬉しいものです。しかし反面、先行きが心配されるような出来事も多発しており、教育については国をあげての大関心事



になっています。

ロータリーは、IAC、RAC、RYLA、青少年交換など新世代に関わる沢山のプログラムを用意し積極的に次世代の育成に努力しており、同時にロータリー財団のプログラムとして国際親



善奨学金制度や研究グループ交換があり、青少年に対しても大いに力を注いでいます。また、日本のロータリーは独自に米山奨学会を組織し、大型の奨学金制度を設け日本への海外留学生に手厚い支援も続けています。こうしたプログラムは関係くださっているロータリアンのまさにService Above Selfの精神によるご尽力でもって成功を収めており、大層ありがたいことであります。

ロータリーでは、クラブや地区での社会奉仕活動を、会員に奉仕の訓練を施すために考えられた研究室の実験・お手本とみなしているのです。もっとも現在のRIはそれだけとは考えていないかもしれませんが。一番に重視されるのは、会員一人一人が家庭、職場や地域で若い世代に日々どう働きかけるかではないでしょうか。

まじめに勤勉に努力すれば、必ずや個人も企業も地方も国も栄えると信じ、ひたすら働き続けてきた結果が現在の姿です。色々な矛盾が表面化し、どうしたら将来のために良いのか、なかなかすっきりと言い切れないのが本当のところですが。でも考えているだけでは事態は変わらず、むしろもっと悪くなります。今、想定される最前の行動を進んで取ることが大切です。以下に私の感じているところを述べますので、皆さんもお考えになってください。

若い人たちに、まず歴史を、特に日本の歴史を詳しく学んでもらい、できれば好きになってもらう。縄文のこと、武士道のこと、第二次世界大戦の前と

後のことなど取り上げただけでも興味は尽きません。道徳のマナー、あわせて世界から関心が寄せられている東洋の哲学。かたちから整える日本の教え方に意味深いものがありそうです。あいさつ、履き物を揃える、立腰一仙骨を立てる、これらの事柄が自然にできるようにする。昨年の11月から作業されてきた石原都知事提案の「心の東京革命」にある7つの呼びかけが判りやすいでしょう。

○毎日きちんとあいさつさせよう

○他人の子どもも叱ろう

○子どもに手伝いをさせよう

○ねだる子どもに我慢をさせよう

○先人や目上の人を敬う心を育てよう

○体験の中で子どもをきたえよう

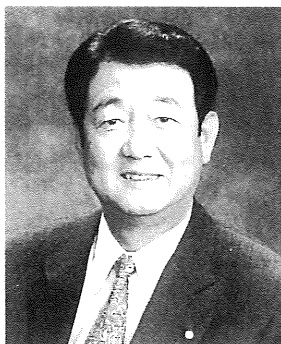
○子どもにその日のことを報告させよう

そして、太陽、自然、親、他人の恩を諄諄と説き、生かされていることの有難さが素直に分かるように育む。感謝の心を常に持つというのは悟りを得るようなことで、極めて難しいことですが、教える側の筈の自分達がまず心を整え感謝の念を常に持つよう努める、子どもたちは私達の鏡、だから私達が子どもたちの鏡になることが何より肝要だと考えます。

それからもう一つ、若い人たちが将来への希望を持てるように手伝ってあげることです。新世代が意識を喚起し、夢大きい未来へ進んで行動できるよう、縁の下の力持ちとなってやろうではありませんか。



新世代のための月間によせて



地区新世代委員会
委員長 鶴田 欣也

このたび、新世代委員長を仰せつかりました鶴田欣也です。この1年間どうぞよろしくお願いします。

さて、福田ガバナーは今年度の地区の方針と目標の中で「自己の快適性追求や自己主張が強調された結果として、古来より伝えられた美風である慎みの心や他人に尽くす気持が失われつつある。失われつつあるこれらのものを我々が良い手本になって取り戻し彼らに伝えなければならない。そして将来に驕を落としている諸問題を若い世代が解決できるようにしたい。また、希望の持てる社会を手渡せたら」と述べられています。

現在、ご承知のように若い世代に関して「児童虐待、いじめ、学級崩壊、引きこもり、17歳の重大犯罪の頻発、麻薬等薬物汚染の広がり」などさまざまな深刻な問題が発生しています。少子化・核家族・親の過保護といった家族の問題、学校教育のあり方、地域社会の問題、

メディアなどさまざまな原因が考えられます。我々は確かに経済的な豊かさを得ましたが、失ったものも大きかったのではないのでしょうか。そしてその大きさと深刻さに社会全般がようやく気が付いたように思われます。これらの問題はどのひとつをとっても簡単に解決できるものではありません。

しかし、次代を担う世代を教育・育成し、彼らが希望をもって新しい時代を切り拓けるようにするのが我々現世代の責務であります。

取り組むべきテーマは複雑多岐に亘りますが出来るだけ焦点を絞って取り組みたいと考えています。

新世代活動を通じ、少しでも現世代の責務を果たせるよう福田ガバナーの方針を基本として、今年度を活動いたす所存ですので、どうか皆様のご理解とご協力をお願いします。

第1回 新世代委員会開催

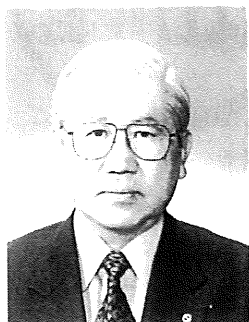
今年度第1回目の地区委員会は、福田ガバナー・藤井ガバナー補佐・伊藤地区幹事・倉知地区副幹事ほか地区委員全員が出席し、去る7月5日に開催されました。

ガバナーからは「新世代に属する人達の問題は特に日本にとって重要な問題である。われわれも勉強し新世代活動を通じて少しでも若い人達が希望の持てる社会となるよう活動したい。」とのメッセージをいただきました。

今回の委員会では、今年度の新世代・IA・RA・RYLAの方針・予算のほか来たる8月25日の第1回地区新世代委員長会議の内容や段取りについて打ち合せを行いました。

新世代活動に対し今年度もロータリアン各位のご理解とご協力をお願いします。

新世代のための月間によせて



地区ローターアクト委員会
委員長 青木 公貞

少子・高齢化、青少年犯罪

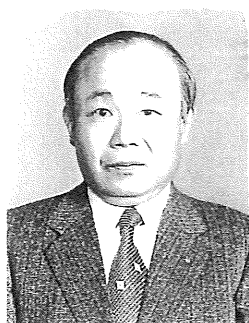
の増加の続く現在、私共の新世代育成プログラムは、限界は有るにせよ、大変重要な社会運動と言える。地区内、9ローターアクトクラブの会員は、ロータリアンの子弟も居るが、多くは企業派遣や会員の友人で構成されている。企業のなかで、日常業務に追われた毎日を過ごしている彼等は、社会を大きく見て、巾広く物を考えるチャンスに欠けてくる。RAは、環境・福祉を始め、さまざまな国内外の社会問題を学び活動し、

成長してゆく若者達の集団である。

一昨年の岡崎の老朽化した福祉施設・米山寮再建の支援、昨年今年と2年間にわたり取組む・子供虐待防止ネットワークあいちへの支援などの活動は、アクト会員の考え方、そして彼等の人生にも大きな影響を与えている。

地区事業が、各RACの活動にも関連し、学習し、討議をし、そして行動に移ってゆく様は、私共、お世話をする委員にも感動を与えてくれる。

RAが、たとえ大きな存在でなくても、各地域、各企業、そして社会人として、確かな存在となってくれば私共の活動も目的に一步近づいたと言えよう。小さくても良い。沢山のダイヤモンドをRA支援で創りたい。



地区ライラ委員会
委員長 加藤 鈴幸

RYLAとは、「Rotary,

Youth,Leadership,Awards」の頭文字です。当第2760地区では、故中村繁男ガバナー(1990～1991年)

の熱意ある提唱によりRI第2760地区の青少年活動委員会の中の小委員会として「ライラ研究委員会」が設置され、1992～1993年度から「ライラ(小)委員会」とその名称を改めライラに対する本格的な取り組みが始められました。同年度岡崎東ロータリークラブのホストにより第一回ライラセミナーが開催されました。それ以後各分区持ち回りによりホストクラブが選ばれ開催が続けられています。昨年度で地区内8つの分区から選ばれたホストクラブの一巡りが終り新たに二巡りが始まります。本年度の第9回ライラセミナーは西三河中分区豊田西ロータリークラブのホストにより2001年3月17日～18日の両日、豊田市に隣接する藤岡町に所在する「全トヨタ労連研修センター(つどいの丘)」に於いて開催いたします。又昨年度1999年5月5～6日、日本で初めてのライラ・ワークショップ(研修会)イン・

ジャパンが神戸のポートピアホテルで今井鎮雄RIライラ委員会委員のもと、全国各地のガバナー・パストガバナーはじめライラ委員長、新世代委員長、ライラ副委員長、新世代副委員長、会長、幹事ら、関係者約180人が集まり開催された。当地区からは、私が代表として出席しました。第1日目は、オリエンテーションとして、「RYLAの歴史と現状」や「ワークショップの持ち方」が示され、続いて4つのグループに分かれて「グループ別討議」が開かれた。第2日目は、パネルディスカッションと各グループ別討議の代表者による報告が行われた。日本の各地区で行われているライラの情報交換と、21世紀へのライラの方向性を語り合い、大変勉強になりました。この研修会の成果をライラ委員会の活動に生かしていきたいと考えています。又RI理事会で承認され、第1回目の国際ライラ大会が2001年6月21～23日、米国テキサス州サンアントニオに於いて、RI国際大会の前に開かれます。この大会には、18才～30才迄の世界中の地区ライラセミナー参加者から選ばれた200名の新世代ライラリアンが参加します。本年度はライラにとって、記念すべき黎明の期となりました。福田ガバナーをはじめ、ロータリアンの方々の暖かい御指導と御協力を心からお願いいたします。

新世代のための月間によせて



地区インターアクト委員会
委員長 萩本鉄夫

前年度に引き続きまして地区インターアクト委員長を仰せつかりました一宮北RCの萩本鉄夫であります。一年間宜しくご指導をお願い申し上げます。

ガバナー始め地区役員、ロータリアンの皆様のご理解とご支援、各IAC顧問の先生方のご尽力のお陰をもちまして、地区内15インターアクトクラブでは活発な活動を続けております。

7月20日(海の日)には、福田ガバナーのご臨席を賜り第11回インターアクトクラブ地区協を大府市勤労文化会館において開催致しました。

当日は、IAC会員と顧問325名、関係ローアリアン180名が参加し“ゆう”をテーマに『世界で初めて、ろう者と聴者の監督二人が共同演出した笑いと涙の感動作』アイラブユーの映画を鑑賞し、分科会では日ごろのIAC活動について発表しmeetingを致しました。第13回IAC海外研修は、オーストラリア：ブリスベンで実施致します。

インターアクトクラブ会員38名(男子5名、女子33名) 団長(名古屋インターアクトクラブ顧問)鈴木一弘教諭、副団長(県立豊橋商業高校IAC顧問)波多野美和子教諭、アドバイザー(地区委員長)萩本鉄夫、(地区委員)村瀬竜雄並びにビデオ担当ロータリアン(一宮中央RC)の加藤辰己の総計43名で、7月28日(金)より8月6日(日)の8泊10日の研修を致しました。今後とも宜しくお願い致します。



国際ロータリー第2760地区

インターアクト地区協議会

—あたらしい“ゆう”をみつけませんか—

世界で初めて、ろう者と聴者の監督二人が共同演出した笑いと涙の感動作
映画(アイラブユー)を鑑賞

年に一度、インターアクトクラブ会員が一堂に会して友情を深め、情報を交換し、日ごろのボランティア活動を確認し合う「第11回インターアクトクラブ地区協」が7月20日(祝)大府市勤労文化会館において開催されました。

本年度のホストクラブは、県立阿久比高等学校インターアクトクラブでありました。また、これを支援致したのはスポンサーロータリークラブの東知多ロータリークラブの皆さんでありました。



—第2760地区インターアクトクラブ海外派—

福田清成第2760地区ガバナー、伊藤鶴吉地区幹事、石川治郎南尾張分区ガバナー補佐、藤井忠西尾張分区ガバナー補佐、鶴田欣也地区新世代委員長、萩本鉄夫地区IA委員長始め7名の地区インターアクト委員それにホストクラブであります県立阿久比高等学校の永幡博校長、次年度ホストクラブとなられます県立千種高等学校の丹羽幹太校長と名古屋名東ロータリークラブの服部力会長の皆さんに特別出席して頂きました。

15 インターアクトクラブからは305名の会員と35名の顧問教諭、ロータリアン206名の総員546名の参加を得まして大盛でありました。



開 会 式

阿久比高等学校インターアクトクラブの村松あやさん、鈴木智子さんの司会により、岸岡沙織会長の点鐘、副会長の早川智久君が協議会の開会宣言を致しました。

城ヶ原亜紀さんの指揮、坂口佳奈美さんの伴奏により国家斉唱に引き続きインターアクトの歌が斉唱されました。

阿久比高等学校インターアクトクラブの岸岡沙織会長並びに東知多ロータリークラブの武田正巳会長の手話を交えての「歓迎の挨拶」がありました。

山口清一インターアクトクラブ協議会実行委員長より出席地区役員、委員及び各スポンサーロータリークラブの紹介があり、さらに幹事の牟田美紀さんから参加インターアクトクラブの紹介がありました。

福田清成ガバナー、鶴田欣也新世代委員長、永幡 博阿久比高等学校長よりそれぞれご挨拶を拝聴し感銘を受けました。

映 画 鑑 賞

今回初めての試みとして映画鑑賞を致しました。この映画は、聴者の大澤豊監督とろう者の米内山明監督が世界で初めて、共同演出した画期的な作品であります。物語は、笑いがいっぱい、チョッピリほろりとして、感動的な幕切れで終わる素晴らしい作品でした。私も度々ハンカチを取り出し、そっと涙を拭きました。

昼 食 : 分 科 会 12:30~14:00

第11回インターアクトクラブ地区協議会では、昼食後18の分科会に分かれて、それぞれ活発な討論が実施されました。

14:15~14:30全体会議で各分科会の内容、意見な

どについて発表がありました。“ゆう”については、(優しい心)の“ゆう”、コミュニケーションの時に持たねばならない(勇気の)“ゆう”と受け止めた者が多くありました。

映画アイラブユーについては沢山の意見がありましたが、4つの例をあげますと ①同情は重荷と分かった。②協力して障害を持った人の暮らし易い社会にしないといけない。③もっと障害者と触れ合う機会をつくる。④自分で出来ることは自分でやってもらい、出来ないことを手伝う勇気があったらいい。

海外研修派遣壮行会 14:35~15:15

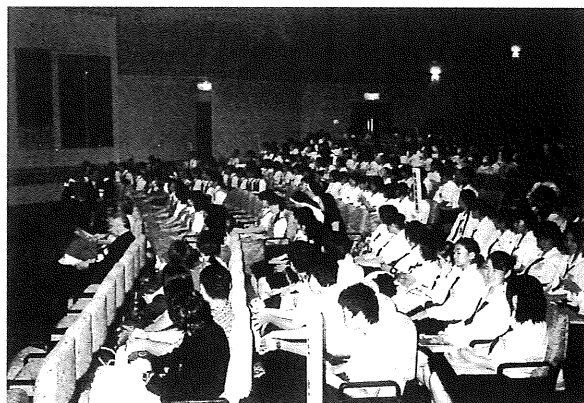
第13回インターアクトクラブ海外研修派遣壮行会は、副団長の県立豊橋商業高等学校 IAC 顧問波多野美和子教諭の司会で始まりました。

荻本鉄夫地区インターアクト委員長の開会挨拶並びに団長及び参加ロータリアンの紹介があり、続いて福田清成ガバナーより参加団員に力強い激励のお言葉を頂きました。団長の名古屋インターアクトクラブ顧問鈴木一弘教諭より挨拶及び団員の紹介があり、代表の生徒から「誓いの言葉」がありました。

閉 会 式

福田ガバナーよりご講評を頂き、荻本鉄夫地区委員長から挨拶並びに次年度のホストクラブの発表があり、福田ガバナーより千種高等学校の IAC 会長牛嶋あすみさん、名古屋名東ロータリークラブの服部 力会長に委嘱状の伝達とお言葉がありました。

第11回インターアクトクラブ地区協議会は、終日感動の連続でありました。協議会を成功に導かれた阿久比高等学校の永幡 博校長先生の深いご理解と顧問教諭の先生方のご指導、インターアクトクラブ会員の努力、東知多ロータリークラブの会長、山口実行委員長始め全会員の皆様のご協力を賜りましたお陰であると心より感謝申し上げます。有難うございました。



= ロータリーは、「食み出せ、食み出せ」で行こう =



パストガバナー

森 泰樹

1977～'78年度
ガバナー（豊橋RC）

私達は毎日々々、澤山の法律に囲まれて暮して生活しているのだが、一日として、その法律のことを意識して暮したことがあるであろうか。恐らく誰も彼も、法律のことは全くうち忘れて、日々自由に、また、のんびりと暮している。

同じように我々の「ロータリー」にも沢山の規制がある。ロータリアンの方々も、毎日々々、その規制を思いつつ、ロータリーを楽しんでいるのであろうか。「全くノーである」

ロータリーをフレキシブルに体験しているからこそ、例会に出席しても、亦諸行事の一員として、ロータリアンとして振舞っても、少しも窮屈さを感じない。即ちロータリーの精神と自分の気持ちとが「渾然一体」となっていればこそ、そう感じなくなっているのではなからうか。

早い話だが、毎日着ている「着物」や「洋服」にしても毎日着ていて、一向に窮屈さを感じることなく、何不自由なく、軽々と着物や洋服を着こなしているのではないか。私達ロータリアンと、その規則との関係も全くそうである。ロータリーには澤山の規制があるが、その規制の事を全く考えず、我々は日々ロータリーをエンジョイ(enjoy)している。

私は海外旅行の途次、色々のロータリーに出てメーカー・アップした。ノルウエイのオスロの例会に出席した時の事である。日本の例会のように点鐘して食事が始まる。食事が終わった頃、会長が「日本から初めてビジターが来た。「 Mori さんです。お立ち下さい」そして「日本のロータリーの話をして下さい」と言う。私は事

前に何もスピーチを頼まれていなかったもので、思いつくまま、日本の気候、風土のことを、へたな英語で四、五分間話して、自席に帰ろうとした。ところが会長が私の腕をつかんで、会員に向って、エニ、クエクション（質問はありませんか）と問いかけた。すると一人の会員が立ち上って「ミスター・ヒロヒト（裕仁天皇）は君のクラブにはいるか」と聞く。そして「スウェーデンでは王様（キング）もロータリーには入っている。今日は生憎、庭球の試合に出て、例会を休んでいるが、君が次の例会に出て来れば、その時にはキングの隣に席をとっておいて、一緒に食事をさせてあげる」と言う。

日本でも戦後になって「皇室の在り方」も大分変って民主的にはなったが、未だまだ、with（人民とともに）by（人民による）そしてto the people（人民のための）までは民主化されていない。まだ、まだ日本の民主主義は進まねば、世界列強のように「民主主義」を謳歌する迄には至らないであろう。

“森 泰樹パストガバナー 在籍50年おめでとうございます”



半世紀に亘るロータリアンとしての活動は、デブリンRI会長からのアワードがなによりの証です。今後ますますご健勝に留意されて、ロータリーをよりフレキシブルに導いて下さい。
※このアワードは月信発行直前にRIから送られて来ました。

＝素晴らしいロータリーを、各クラブの充実で＝



パストガバナー

福田 浩三

1985～'86年度
ガバナー(名古屋空港RC)

いよいよ新しい21世紀を迎えます。

20世紀初頭に始まったロータリーは、素晴らしい発展を遂げて参りました。

私がロータリアンになったのは1974年(昭和49年)、新設の名古屋空港RCに入会したために、早めに委員長とかSAAにさせられました。職業奉仕の精神は、今までの医師としての診療の心構えを一変させました。社会奉仕の決議23-34にいたく感激して、ロータリークラブは、奉仕の哲学を学び、奉仕の実践の訓練をする場であると悟りました。5年目に会長になり、クラブの質の向上を図るとともに、海外姉妹クラブとの提携を始めました。分区分区が8年目、尾張第二分区分を東・西尾張分区分に分割して頂きました。その時のガバナーは大隈先輩。

ガバナーを拝命したのは11年目、愛知長野の96クラブをすべて訪問致しました。ガバナー時代の思い出は、両県の隅々まで訪問して多くの人々と触れ合うことの出来たこと、地区分割の申請、シカゴ規定審議会に急遽ピンチヒッター出席し決議23-34存続に運動したことなどです。“YOU ARE THE KEY”がその年度のカドマンRI会長のテーマで、それを実践したつもりでした。

愛知長野の地区分割については、RIから毎年勧告を受けて長い間懸案になっておりましたが、それまでの諮問委員会の大勢は「困難」との見解で、特に長野のPGは消極的でした。ところが、長野の公式訪問中の夜の親睦懇談会で若手会員の意見を聞くと、多くが分割独立賛成でした。

そこで、正式にアンケートをとって分割を決議したわけですが、その後の長野の発展は目覚ましいものがあります。

RIが、地区分割、クラブ拡大を推進し、また、テリトリー、職業分類の緩和、メーキャップ期間の延長などを策定しているうちに、会員は飛躍的に増加しましたが、ロータリーの肥大化に伴って幾多の問題点を抱えるようになって参りました。特にガバナーの増加による国際協議会のホテル難と経費増は深刻のようで、RIは地区分割よりも、むしろ地区合併を勧めることを始めています。50クラブ未満、ロータリアン1800人未満の地区は認めないことになりました。

そして、各クラブによる会員増強は、最近RI会長が特に最重点に要請しています。世界的に不況が続いて会員数の純減が起こっているためです。RIの経費増大に対応するには会員増強しかありません。何故なら、それに代わる年会費増額は、現状の規定審議会をパス出来ない悩みがあるからです。

犬飼Gが導入に尽力された「DISTRICT LEADERSHIP PLAN」は、Gの負担を減らし(クラブ数が100以上になってもいいように)結局はガバナー数を増やさないためのプランです。RI理事会の数年の試行と検討の結果の自信作であり、施行一年後に当地区内全クラブのアンケートをとられたら、賛成多数であったとの報告があります。ポールさんもびっくりされると思われるこのDLPの意義は、後世の評価を待たねばなりませんが、ロータリーのL化を嘆くのはむしろ少数派になったのでしょうか。

ロータリーは発展して来ましたが、国際ロータリーとロータリー財団が強大になりすぎています。本来ロータリーの基礎は各クラブであります。ロータリーの原点に帰り、個人の職業奉仕を基として、クラブとしての奉仕を、地域社会に、更には世界に捧げるべきです。そのためには、自主的な会員増強に励むべきで、しかも、若い世代に入りやすく、活動しやすい魅力あるクラブを作ることが望まれます。

2000～2001年度 国際ロータリー第2760地区

第1回諮問委員会

日時 平成12年7月8日(土)11:00～13:00
場所 名鉄グランドホテル

出席者 森PDG 奥谷PDG 福田PDG 田中PDG
高沢PDG 加納PDG 石川PDG 松本PDG
内藤PDG 野村PDG 福田DG 太田DGE

(オブザーバー 伊藤地区幹事、倉知地区副幹事、藤井次期地区幹事)

欠席者 盛田PDG 神戸PDG 宮地PDG 蜂谷PDG

福田ガバナー挨拶

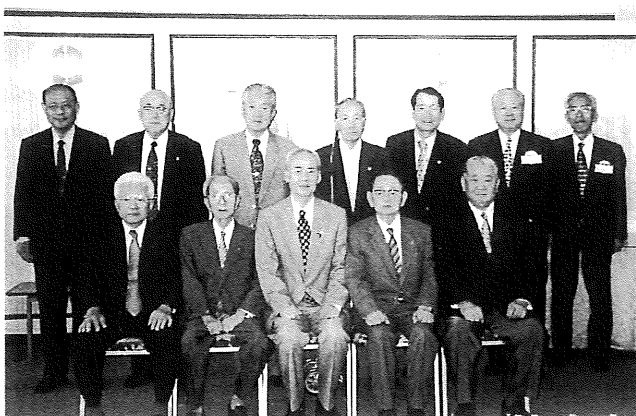
今年度のRIテーマは単純ななかにも力強い言葉の響きを持っており、

21世紀を迎えるに相応しいものだと考えています。

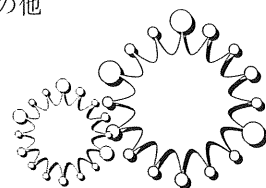
ロータリーの役割を1年間を通して求め続けていきたいと思っています。やや殺伐とした風潮の世の中に、ロータリーの暖かい穏やかな考え方を広めていければと切に願っています。

協議事項

1. 2002～2003年度 国際ロータリー第2760地区ガバナーノミニー候補推薦日程の件
2. 2000～2001年度地区大会関連委員会委員の選任委嘱の件
(地区大会企画、信任状資格審査、選挙管理、大会決議、登録)
3. 2000～2001年度意義ある業績賞選考委員会委員選任委嘱の件
4. 2000～2001年度GSE選考委員会委員選任委嘱の件
5. その他



諮問委員のみなさん

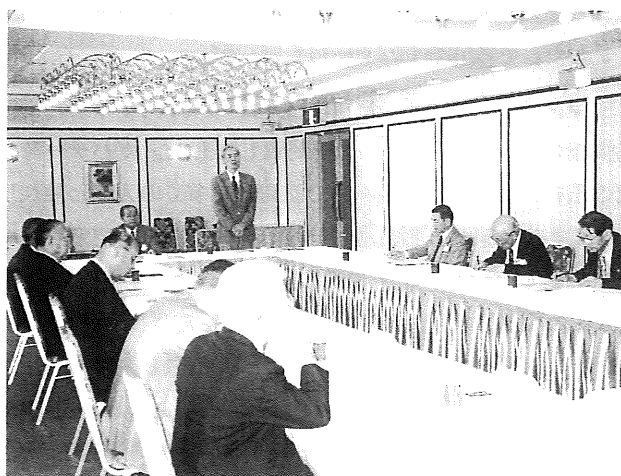


報告事項

以下の議題全部につき伊藤地区幹事より配付資料のとおり報告された。

1. 2000～2001年度のための地区協議会報告並びに決算報告の件
2. 2000～2001年度地区大会プログラム(案)ホストクラブ実行委員会の件
3. ガバナー補佐訪問日程の件
4. ガバナー月信申込状況の件
5. 2000～2001年度I.M.の日程とリーダーの件
6. 第13回インターアクトクラブ海外研修旅行及び地区協議会開催の件
7. 地区主要行事日程の件
8. (財)ロータリー米山記念奨学理事、評議員推薦の件
9. 日本サービスセンター情報

以上



福田ガバナー 神田知事 松原名古屋市長を訪問

新年度入り早々の7月3日そして7日の2日間、福田ガバナーは伊藤幹事らと共に、神田真秋愛知県知事、松原武久名古屋市長、そして朝日新聞社島村秀一名古屋代表、並びに中日新聞社大島宏彦会長を表敬訪問。

神田知事、松原市長には、一年間の活動に対しての御理解と地区大会への出席を要望。



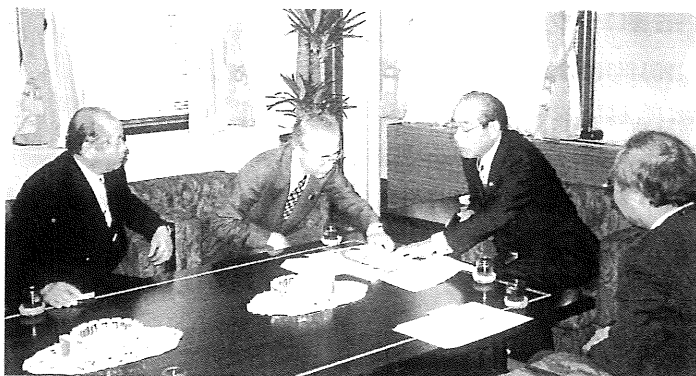
また朝日、中日両新聞社ではロータリー広報へのご協力をお願いし、ロータリー談義に花を咲かせた。島村代表、大島会長は共に名古屋ロータリークラブ会員であり、大島氏は今年度クラブ会長でもある。



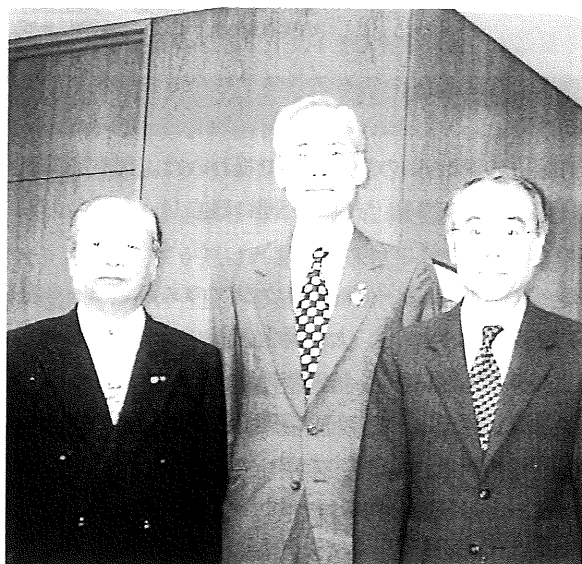
神田知事にロータリーパッチを贈る福田ガバナー



地区大会の出席を要請する福田ガバナー



松原名古屋市長にガバナー月信を説明する福田ガバナー



島村朝日新聞社名古屋本社代表(右)と



大島中日新聞社会長(右)と福田ガバナー

祝 創立50周年

輝ける
ロータリー
半世紀

豊橋RC、半田RC、岡崎RCと!!

国際ロータリー フランク・J.デブリン会長からアワード

豊橋ロータリークラブ



豊橋ロータリークラブ殿
認証日：1950年8月26日
貴クラブの国際ロータリー入会50年に際し、これまでのロータリーの使命への献身的な取り組み、超我の奉仕の実践を称え、ここに表彰致します。

1950年、日本ロータリー生みの親、米山梅吉氏に、直接薫陶をうけた神野太郎氏が中心になって愛知県三番目のク

創立

1950年8月10日

承認

1950年8月26日

スポンサー

名古屋ロータリークラブ

チャーターメンバー

22名

現会員

130名

ラブとして誕生した。

神野太郎、森泰樹、高沢隆、石川和昌ガバナーを輩出し、岡崎・蒲郡・飯田・豊橋北・田原・豊橋南・豊橋ゴールドデンの7クラブのスポンサーを務め、1970年、1985年地区年次大会をホストし、1965年インターアクト、1975年ローターアクト、1993年ロータリー地域共同体(RCC)を設立した。

2000年8月10日、創立満50周年記念の日にベルリン放送交響楽団演奏会、をはじめ、各種の事業・式典を開催して盛大に祝われた。

半田ロータリークラブ

創立

1951年5月16日

承認

1951年6月6日

スポンサー

名古屋ロータリークラブ

チャーターメンバー

23名

現会員

73名

1951年10月18日、認証状伝達式を半田市中央公会堂で盛大に開催し、ロータリー活動がスタートした。10周年には、半田市・常滑市に救急車を寄贈し、1962年に藤山一郎氏に作曲を依頼して「半田市民の歌」を披露した。常滑・東浦(現東知多)、半田南の3クラブのスポンサーを務め、また田中徹、松本宏ガバナーを輩出、1988年地区大会をホス

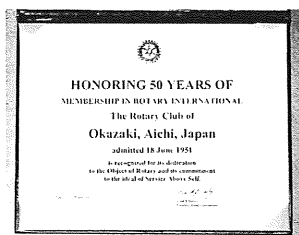
ト、RI6310地区ミッドランドRC、RI2600地区松本RCと姉妹提携をし交流している。新美南吉の「ごんぎつねのふる里」であるシンボルタワーを設置した。これは半田ロータリアンの心である。

2001年6月2日に創立50周年記念式典、記念事業などが綿密にいま企画されつつある。



半田ロータリークラブ殿
認証日：1951年6月6日
貴クラブの国際ロータリー入会50年に際し、これまでのロータリーの使命への献身的な取り組み、超我の奉仕の実践を称え、ここに表彰致します。

岡崎ロータリークラブ



岡崎ロータリークラブ殿
認証日：1951年6月18日
貴クラブの国際ロータリー入会50年に際し、これまでのロータリーの使命への献身的な取り組み、超我の奉仕の実践を称え、ここに表彰致します。

1951年11月18日、認証状伝達式が盛大に開催され、ロータリアンの絆が生まれた。創立10周年記念に豊田RCの設

創立

1951年6月8日

承認

1951年6月18日

スポンサー

豊橋ロータリークラブ

チャーターメンバー

25名

現会員

109名

立、作家「山岡壮八」の記念講演で祝われた。創立25周年には「岡崎市民憲章碑」を岡崎公園に建立し、市民とのふれあいを深めている。

安城・豊田・岡崎南・岡崎東4クラブのスポンサーを務め、内藤卯三郎ガバナー、太田賢太郎ガバナーエレクトを輩出、1968年地区協議会、1972年地区大会をホスト、インターアクト、ローターアクトの活動も活発に運営され、ロータリアンの貢献も大きい。また、エルカミノ、リアルRC(米国)との姉妹提携も行われている。

2001年6月13日は記念すべき半世紀に亘る創立50周年記念セレモニーに向かって109名の会員は奉仕に、式典に燃えている。

RI青少年交換委員会 委員就任報告



RI 在日委員

神田 憲

(名古屋大須クラブ)

本年6月のブエノスアイレス世界大会にて2000/01年度のRI青少年交換委員会メンバーとしてRIの役員に任命されました。F.J.デブリンRI会長の直轄の委員会で、世界で10名が任命され、構成メンバーは、アメリカ4名/オーストラリア/ブラジル/南アフリカ/タイランド/イギリス/日本が各1名です。



野村PG、福田G、太田GEの前で就任挨拶

奉仕活動の内容はデブリンRI会長・RI担当理事・RI青少年交換委員長からの依頼要望事項を、日本35地区の青少年交換委員会に対し的確に伝達し、速やかに処理をし青少年交換プログラムの高揚を図ること。またスーパーバイザーとして台湾と韓国も管轄します。皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

国際ロータリー第2760地区 2000～2001年度 地区協議会決算書

■収入の部

ホスト：西春日井ロータリークラブ

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
地 区 助 成 金	1,100,000	1,100,000	
参加クラブ登録料	18,917,500	17,848,000	参加者1552名×11,500
米山記念奨学会補助	400,000	485,483	食事代276,000 会場費209,483
雑 収 入	200,000	345,166	祝儀345,000 利息166
ホストクラブ負担金	100,000	51,713	
合 計	20,717,500	19,830,362	

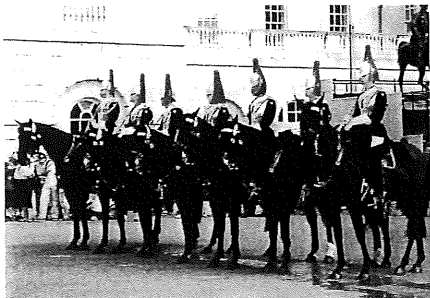
■支出の部

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
1. 指 導 者 会 議	1,100,000	454,259	
2. 地 区 協 議 会	16,050,000	14,572,043	
(会 場 費)	(3,250,000)	(2,981,527)	会場室料
(昼 食 費)	(6,600,000)	(5,717,229)	割り弁当
(友 愛 の 広 場)	(2,000,000)	(2,441,775)	呈茶 ジュース サンドイッチ 他
(会 場 設 営 費)	(3,500,000)	(2,464,829)	椅子借用料 受付パーテーション 他
(会 場 運 営 費)	(700,000)	(966,683)	分科会看板 登録用名札 封筒・記念品 他
3. 庶 務 関 係	1,700,000	2,663,772	プログラム作成費 計画概要報告書費用 他
4. 実 行 委 員 会	1,750,000	2,038,295	
(会 議 費)	(750,000)	(744,401)	実行委員会会議費 他
(事 務 費)	(1,000,000)	(1,293,894)	事務局人件費 会議記録ビデオ・写真 他
5. 雑 費	117,500	101,993	事務用消耗品 他
合 計	20,717,500	19,830,362	

第2760地区 ローターアクト

RID2760ローターアクト 海外研修報告

〈研修先：イギリス 2000年6月2日～7日〉



海外のRAとの交流を通して、その国の伝統文化と相互理解を目的とする地区行事の海外研修が行なわれた。

出発前にグループに分かれ研修テーマを掲げ、イギリスの歴史、文化、伝統を学び、企画書を作成して、青木公貞地区RA委員長の見送りで出発しました。現地ではRID1140RAの案内で2階立てのロンドンバスで市内各所の見学をする。合同懇親会ではアクトの活動について協議。歴史ある建築物や王室の伝統と文化など活発な話し合いを行う。この交流で研修の目的を達することができました。海外研修に対してご支援下さいました各RCの皆様へ心よりお礼申し上げます。

◎参加者氏名

団 長 地区代表 樋口慎一郎
副団長 地区幹事 田村真由美
齊藤玲子 岡本和子 天野睦久 大角恵三
山田 真 岡本朱利 小中郁香
R C 加藤康司 高木 博



第2760地区ローターアクト 指導者研修会開催

〈平成12年6月25日(日) 豊橋商工会議所〉

地区代表 樋口 慎一郎
地区代表ノミニ 佐々木 義宜

次年度にローターアクトの活動が確実に引継がれることを目的として、今年度最後の地区行事、指導者研修会が、地区代表ノミニを中心となって開催。

プログラムは10:00点鐘、特別出席者及び参加クラブ紹介。樋口地区代表挨拶、佐々木地区代表ノミニの挨拶と次年度地区方針表明、次年度各クラブ方針表明が行われました。午後の分科会は、会長部門、幹事部門、ゾーン代理及び代表、地区及びゾーン運営合同部門、地区行事実行委員長部門と分かれて懸命な協議が行われる。全体会議では各分科会の協議事項を報告、青木地区ローターアクト委員長の激励と感謝の講評で終了しました。

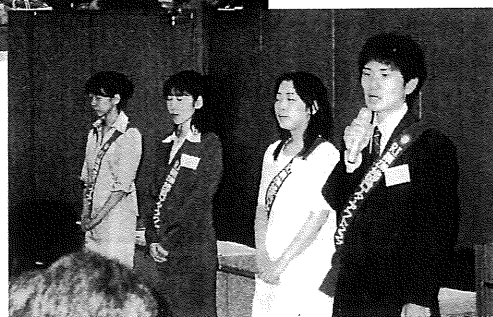
◎2000～2001年度

地区テーマ 「伝えようアクトの心」

地区方針 「①会員増強 ②アクト活動を見直そう」

主要行事

- 1) 2000年11月5日(日) アクターズミーティング
- 2) 2001年5月12・13日(土、日) 地区年次大会
- 3) 2001年5月23・24日(土、日) 指導者研修会



マルチプル・ポール・ハリス・フェロー 7月分

稲垣 孝憲様(あまロータリークラブ) 2000.7.11付
堀江 承元様(あまロータリークラブ) 2000.7.18付

計 報

— 謹んでお悔やみ申し上げます —

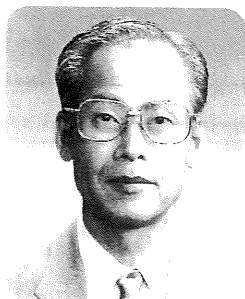
鈴木 充様(名古屋南ロータリークラブ) 6月30日
吉橋 完爾様(三河安城ロータリークラブ) 7月17日

2000～2001年度
国際ロータリー第2760地区

地区大会のご案内

11月18日(土)～19日(日) ウェスティンナゴヤキャッスル
20日(月) 名古屋ゴルフ倶楽部 和合コース

国際ロータリー第2760地区
ガバナー 福田 清成

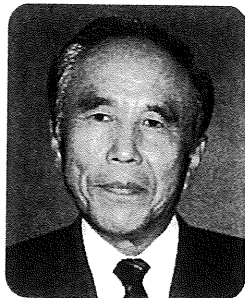


もう本当に21世紀が目前にちかづいて参りました。ワクワク致します。

ロータリーの夢が大勢の人々に喜んで受けとめられる時代に入っていくような気がします。

新しさにチャレンジすることが大好きな名古屋和合ロータリークラブの皆さんが工夫を凝らして下さいます。是非、集まりましょう。

名古屋和合ロータリークラブ
大会実行委員長 安井 信之



2000年、なんと響きのよい年号だろう。今までとは違った何かをしなければと自然に力が湧き出るような気がする。

今年度地区大会は、新しい世紀に通ずる新しい発想でのガバナー方針に沿って、随所に今までとは違った試みを取り入れます。

まず、形式的な部分を極力避け、実質本位に。

二つ目は、ロータリーミーティングと記念講演を二日目に集中させ、大会を盛り上げる。

三つ目は、登録料を思いきって下げ、知恵と努力効率予算・運営に挑戦する。

この他、ロータリーの夢を語るコーナー、アトラクション、ゴルフ大会での余興などを企画して、皆さんのご参加を心からお待ちしております。



大会第1日目 パネルディスカッション

- ◆テーマ 「ロータリーを斬る！」
～ロータリーを愛するが故に～
- ◆パネリスト 盛田 純子様
横井 元子様
石川 百代様
- ◆コーディネーター 上村 晋也様

大会第2日目 ロータリーミーティング

- ◆テーマ 「職業奉仕について」
- ◆パネリスト 石田 和昌様(地区研修リーダー)
田中 清隆様(地区職業奉仕委員長)
安井 義博様(名古屋RC職業奉仕委員長)
福谷 正男様(名古屋東RC環境保全委員)
- ◆コーディネーター 福田 清成様(2760地区ガバナー)

大会第2日目 講師：中坊 公平氏



演 題

「生きること、
学ぶこと」

1929年京都市生まれ。
57年大阪弁護士会登録。

森永ヒ素ミルク中毒被害者弁護、豊田商事の破産管財人などの活動を経て、90年から2年間、日弁連会長を務める。住宅金融債権管理機構社長に続き、この4月から整理回収機構社長に就任。債権回収の陣頭指揮を執る。

大会第3日目 記念ゴルフ大会

- ◆名古屋ゴルフ倶楽部 和合コース
- ◆8:00 OUT・IN 同時スタート
- ◆15:00 表彰式
- ◆競技方式：ダブルペリア方式

各地区関係事務所の御案内

◆ガバナー事務所

〒483-8205
江南市古知野町小金112
江南商工会館内
TEL 0587-52-5200
FAX 0587-52-5252

◆地区事務所

〒450-0002
名古屋市中村区名駅3-12-5
竹生ビル別館(ちくぶビル)
TEL 052-541-2760
FAX 052-541-0500

◆地区大会実行委員会事務所

〒451-8551
名古屋市西区樋の口町3-19
ウェスティンナゴヤキャッスルホテル427号
TEL 052-521-2187
FAX 052-521-2163

ガバナー月信第2号TEL・FAX番号
に誤りがございました。
ここにお詫びし、訂正いたします。

文庫通信 154号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に設立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料(貸出可)など、1万8千余点を収集・整備し、皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

新着資料から

- ◎『1999～2000年度国際ロータリーゾーン1.2.3.4(A) 第28回ロータリー研究会報告書』京都R.C.(ホスト) 2000 176頁
[申込先: 京都R.C. TEL(075)231-8738]
- ◎『新装・ようこそロータリーへ』佐藤千尋 東京江北R.C. 2000 87頁
[申込先: 東京江北R.C. FAX(03)3633-8738]
- ◎『本卦還りー新千年紀を展望してー』佐藤千尋 2000 61頁
[申込先: ニダック(株)・安里 TEL(03)3256-0039]
- ◎『ロータリー情報資料集』D.2820 2000 70頁
[申込先: 木村 功 TEL(0297)62-1336]
- ◎『21世紀のロータリーを語る』小堀憲助 [2000] 23頁 (D.2500地区大会講演)
[申込先: ロータリー文庫]
- ◎『ロータリーの組織管理原則』齋藤 博 1999 33頁
[申込先: ロータリー文庫(コピー)]
- ◎『会員増強について考える』鳴海淳郎 [2000] 8頁
[申込先: ロータリー文庫]
- ◎『ロータリーの視覚的イメージのための仕様の手引き』R.I. 1999 31頁
[申込先: サービス・センター TEL(03)3355-5391]

ビデオテープ

- ◎『ロータリーとは』R.I. 1999 12分
- ◎『ポール・ハリス・フェロー: 世界中で善行を行う人々』R.I. 1999 11分
- ◎『ポリオ・プラス: 世界の子供たちへの贈物』R.I. 1999 11分
[上記購入: サービス・センター TEL(03)3355-5391
借用: ロータリー文庫]

〒105-0011
東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7階
TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

ロータリー文庫

表紙に寄せて

福田ガバナーが折にふれ、読んだり、見たり、聞いたりの中で、平易な内に含蓄のある言葉を編集スタッフで選んだものです。

恕(じょ): おもいやる・あわれむ・
いつくしみ・ゆるす

●書家・画家プロフィール

書: 富永奇洞

富永正明・号奇洞/篆刻・書道家
奇洞会会主・東海書道芸術院副会長
江南市教育委員長/文部大臣・県教育表彰(社会教育功労)
1998～1999年度江南RC会長

画: 岩田明生

岩田 明・号明生/洋画家
江南市文化協会理事
昭和54年以後白人会連続出品
白日賞/文部大臣賞/
現在白人会会員

両氏 江南ロータリークラブ会員